

平成二十五年 音楽事業

大人から子どもまで幅広く楽しめる、せんがわ劇場の音楽プログラムの数々を、昨年度の例で紹介いたします。(梶)

◎サンデー・マティネ・コンサート午後への前奏曲 ～ふらっと気軽に音楽会へ～

毎月一～二回程度、日曜日の午前十一時から約四十五分間の無料コンサート。昨年度はvol. 105～122の計十八回を開催。普段聴くことの出来ない珍しい楽器から本格的なクラシック、そして今後の活躍が期待される未来のホープを紹介するシリーズなど、バラエティーに富んだ内容が楽しめました。

◎サンデー・マティネ・コンサート Pius+

「サンデー・マティネ・コンサート」の姉妹企画として、「サンデー・マティネ・コンサート Pius+」では、より本格的なコンサートが楽しめるようになりました。クラシックの名曲を気軽に、そして贅沢に聴けるコンサートです。昨年度は、vol. 4～6の三回を開催。どの回も大変人気で、お客様は充実した演奏を堪能されていました。

◎ファミリー音楽プログラム

親子を対象とした音楽プログラム。昨年度はvol. 10～12の三回を開催。回によっては、未就学児や〇歳から参加可能なものもあり、毎回とても人気のあるプログラムです。

昨年度は劇場を飛び出し、仙川保育園や桐朋学園大学・桐朋学園芸術短期大学などでも開催し、大好評でした！



市民サポーターの梶山真代です。多くの意味で聴衆にとっても近い距離で行われる公演の数々に、心躍る一年間でした！

◎JAZZ ART せんがわ

第六回を迎えたジャズ・フェスティバル。七月十九日～二十一日で開催。世界で高い評価を得ている日本人アーティストを中心に、前衛音楽、即興演奏、アートパフォーマンスなどを展開。子供向けの音遊びなど、即興の楽しさを味わえるイベントも盛り沢山でした。

◎せんがわピアノオーディション

今後の活躍が期待され、かつ、お客様に愛される若手ピアニストの発掘を目的としたオーディションで、八月の開催で第二回目。多くの若手演奏家の応募があり、昨年度は二名が最優秀賞を受賞しました。

◎同・受賞コンサート

八月のピアノオーディションの最優秀賞受賞者二名によるソロリサイタルを、今年一月に開催。お二人とも、フレッシュな演奏を披露してくれました！仙川から羽ばたく若き才能にご期待ください。

市民サポーターに話を聞きました♪

せんがわ劇場市民サポーターは、様々な形で事業に関わっています。今回は、衣裳製作に参加した須原礼子さん(参加5年目)と細野谷由美子さん(衣裳は初参加)に、市民参加演劇公演「わか町、せんがわ」の公演終了直後にお話を聞きました。↓

舞台衣裳は、つくったら終わり、じゃないんですね。役者さんに着付けをして、補正して、さらに飾り付けを重ねたり。時には公演中の着替えを手伝ったり……人との関わりや、出会いがある仕事ですね(須原)

Q 須原さん、せんがわ劇場の市民サポーターになつたきっかけはなんですか？

須原…市民サポーター(当時は、調布市せんがわ劇場アンサンブル)に友達が先に入っていて、衣裳製作に参加していると聞いて、私も洋服は少しできるので、「やってみよう」と思って、参加しました。

Q 実際に参加されてどうでしたか？

須原…自分の趣味を生かしながら、別世界に関わっている醍醐味、今まで自分が縫ってきたものと全然別なものを縫える楽しみがある、と思っています。…まあ「のど元すぎれば熱さ忘れる」ですね(笑)。今回の市民劇「わか町」は出演者も多くて、少ない人でも四五着の衣裳があり、合計で一四〇着以上の衣裳がありましたからね！さすがにちよつと大変でしたけど……終わってみると、楽しかったことしか覚えていません(笑)。

Q 仲村さんによる衣裳ワークショップ(※)がありましたよね。その時は？

須原…仲村さんは「雪の女王」(二〇〇八)から「緒させていたいています」ですが、その時は仲村さんの講師アシスタントとして参加しました。舞台衣裳は、デザイナーさんの型紙をもとに、ゼロからつくる場合も結構あるんですよ。

Q 細野谷さんは、今回、衣裳スタッフとして参加されてどうでしたか？

細野谷…私は一回目の市民参加演劇に出演者として参加した時、衣裳を作ってくたさる皆さんの姿を見て、「皆さんの苦労があったから自分が出演できた」という思いがあったので、今度は自分が衣裳製作で力になれるといいなと思って参加しました。



衣裳製作スタッフに参加した、市民サポーターの細野谷由美子さん(左)と、須原礼子さん(中央)。右:衣裳デザイナーの仲村祐妃子さん。せんがわ劇場では「わか町、せんがわ」をはじめ、数々の作品で衣裳デザインを担当。

Q でも、二回目も出演されましたよね？

細野谷…はい、三回目でやっと念願の衣裳製作に参加できました(笑)

須原…ゆみちゃん(細野谷さん)は出演者の顔や名前をよくわかっていて、「この衣裳の人は誰で、どんな人か」とか、すぐ教えてくれたので、私たちの中でもいい立場で参加してくれたなって思っています。

細野谷…衣裳をつくることもとても勉強になったけど、私はこの劇場に来ることが大好きで、この劇場にいる皆さんが大好きなんです。いつも本当にありがとございます。これからも、どうぞよろしくお願いたします。

※二〇一〇年八月二十一日・二日「ものづくり体験ワークショップ」として、仲村祐妃子さんを講師に、衣裳ワークショップを開催。ここで製作した衣裳は、第九回アンサンブル公演「オナイヌ」の舞台で実際に使用されました。このワークショップに参加された方が、今の劇場衣裳チームを支えています。